

2021年度 oniビジョン番組審議会

2021年度番組審議会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため面談での会議は開催せず、文書で委員からの意見を聞いた。

◇番組審議会委員 高山晃一委員、長門修二委員、平田慎一委員

◇対象番組

「oni ニュースプラス」、「御津のチカラ コロナに負けない地域の絆」

◇委員からの意見

(高山委員)

- ・コロナ禍で学校やコミュニティの活動が大きく制限され、中止が相次ぐ中、できることを考え活動を続けていることを紹介するのは、元気を与えるとともに、大きな参考になる。取材を受ける側も大いに励みになるのではないか。
- ・「コロナに負けない地域の絆」は、御津にスポットを当てるのは良いと思うが、ややくどい。
- ・素晴らしい企画が、多くの人の目に触れることを願っています。

(長門委員)

- ・「oni ニュースプラス」は、地方テレビ局として若年層から高齢者層と幅広く地域の生活・話題を取り上げて楽しみとなる番組であると思います。
- ・取材スタッフの方には、地域から情報を待っているのではなく、地域とのコミュニケーションを大切にし、足を運び、メッセージを発信し、地域の特色を掴んで欲しいと思います。
- ・私としては、コロナ禍の中で行動できる範囲が狭い中、「oni ニュースプラス」「ちまた通信」「あっちこっち岡山」「県議会」「市議会」などの番組は、情報取得の一つとして楽しく拝見しています。

(平田委員)

- ・地域に密着したテーマを題材としたものが多く、見ていて大変良いなと思いました。
- ・飾らない素朴さは地域と向き合う姿勢にこそ、ケーブルテレビの良さは表れると思います。
- ・「コロナに負けない地域の絆」では、小学生が作った折り鶴を高校生がアート作品にするドリームレインボー、御津公民館での獅子舞フェスタなど、コロナで疲弊した日常をどうにかしようと懸命に生きてきた人たちの絆が感じられる良い映像でした。
- ・地域で暮らす小さな出来事を基礎として、これからもしっかりと地域の良さを放送していただければと思います。